

令和2年度第3回兵庫労働局公共調達監視委員会議事概要

令和2年度第3回公共調達監視委員会を令和3年2月2日（火）に兵庫労働局会議室において開催しました。

その審議の内容は下記のとおりです。

1 審査対象期間 令和2年7月1日～令和2年9月30日

2 前回の公共調達監視委員会活動状況報告について

令和2年11月18日開催の公共調達監視委員会の活動状況については、審査案件94件について報告書としてまとめています。

3 公共調達審査会審議結果報告（公共調達審査会委員長）

令和3年1月15日に開催しました公共調達審査会は、委員3名全員の出席により、対象期間が令和2年7月1日から同年9月30日間の契約締結案件22件を審議した結果、全案件について、適正な処理であると判断しました。

4 抽出結果の報告（抽出担当委員）

抽出担当委員より、対象期間は令和2年7月1日から令和2年9月30日まで、対象案件22全てを抽出し、審議の対象とする報告がなされた。

5 対象案件の審議

対象案件中8件は一般競争入札、14件は随意契約によるもので、事務局から公共調達監視委員会審議対象一覧に沿って各案件を説明。

委員 競争入札案件通番8（役務）の「兵庫労働局におけるストレスチェック業務委託契約」ですが、集団単位が36から993に増加したとありますが、具体的にはどのようなことなのでしょう。

局 36 集団につきましては兵庫労働局の組織全体の出先機関を含めた数を表しています。監督署、ハローワーク単位のこと、大きな単位のことです。

安全衛生法に基づく単位ではないので、要領を改正した結果、出先機関ごとではなく、出先機関のうち業務担当部署ごとに細分化し評価を行うこととしたものです。

よって、集団数が激増したものです。予定価格の考え方としまして、集団数が増加することで評価数も増加すると判断し、単価に集団数を乗じて積算をしたものです。

しかしながら、実際の価格算出は、集団数に応じて積算するものではなく、評価人数によるものであったことから、予定価格が上がったものとなっています。次年度の予定価格の積算については、これを踏まえ対応したいと考えています。

委員長 ストレスチェックは、まさしく労働局、労働基準監督署が所管する事業の根幹となるものですので、その評価を含めて対応されるようお願いいたします。

以上

委員長 競争入札案件通番2（工事）の「神戸西労働基準監督署外壁改修等工事」については落札率が47%と低くなっています。応札が21者であったとなっており、多くの応札者がいる中で近似した価格の業者はあったのでしょうか。

局 応札者21者のうち1000万円を下回ったのは、この落札業者のみでした。それ以外はすべて消費税込みで1000万円を超えておりました。1000万円から2000万円の金額帯に10数者があり、集中しておりました。また2000万円を上回る業者も2者ありました。

この業者の低入札となっておりますので、調査実施対象と言うこ

とで、調査を行っております。

委員長 調査の結果、合理的な結果が説明されたということですね。

局 そのとおりです。

以上

委員 競争入札案件について全般的な印象ですが、応札者数が多いと思いますが、例年に比べてどうでしょうか、新型コロナウイルス感染の影響でしょうか。

局 応札者は多かったのは事実です。公告周知にあたって特段の広報活動を活発に行ったわけではありません。契約時期が今年の7月から9月でしたので、新型コロナウイルス感染拡大の第1波が過ぎて、企業が再活動を活発に行ったためと思われます。

以上

委員長 随意契約通番2～4番の賃貸借契約ですが、落札者が森本倉庫となっています。随契通番3と4については、既に契約し使用している同じビルの同一フロアですが、随契通番2については、別のビルで徒歩3分の場所となっています。

賃貸借物件を探すのは、会計課の担当業務でしょうか。要望部署との調整はどのようになっているのでしょうか。

局 要求部署からの要望は上がって来ます。会計係が担当し、近隣の物件の状況を踏まえて探しております。

委員長 随契通番2番は、三宮地区に所在しており、賃料が高い印象がありますが、どうでしょうか。

局 ハローワーク三宮の第1センターを拠点に第2センターを整備しましたので、第1センターの近隣地が候補となったものです。

三宮地区は、賃料が高い地区ではありますが、その中でもインターネット等で市場の状況を確認しました。森本倉庫へも声掛けをしたところ、他よりも安い価格が得られました。また、三宮地区で必要としていたフロアの規模では、該当物件を探すのはかなり厳しいものでしたので、契約相手としました。

委員長 第1センターも森本倉庫との契約でしょうか。

局 第1センターにつきましては、日本生命と契約をしております。

委員 契約期間は7月1日から、翌年3月31日までの短期となっておりますが、どのような理由でしょうか。

局 契約件名のとおり新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金の事務を行うものとして借上げたもので、法律に基づく対応期間での契約となっております。

委員 この制度が延長された場合は、再度契約をされるのでしょうか。

局 延長された場合は、再度契約を締結することとなります。

委員 その他、什器やパソコンも購入されていますが、これらは事業終了後どのように活用されるのでしょうか。

局 パソコンについては、情報が記憶媒体に残りますので、耐用年数経過を待たずに廃棄となります。

委員 情報だけ取り出して、活用することは出来ないのでしょうか。

局 完全に情報を削除することができないため、現状では廃棄以外
想定はしておりません。ハードディスクのみの換装も考えており
ません。本省からも取扱いについて、適宜指示があり、慎重に取
り扱っております。

委員長 過去には神奈川県でハードディスクが転売された事例もあり
ます。セキュリティ面も大事ですので、しかるべく措置を講じる
こととして下さい。

局 什器につきましては、ハローワークで老朽化し使用が困難とな
ったものから順次交換をして有効活用していきます。

以上

委員 随契案件通番11（委託）の「不安定就労者再チャレンジ支援委
託事業」ですが、これは大原学園にすべて任せて事業をクリスタル
タワーで行うということでしょうか。

局 委託事業は、委託内容を仕様書により行うべき内容を規定し、ま
た、それを行うことができる委託先に事業委託する仕組みとなっ
ております。

仕様書を基として、企画競争において具体的な提案を行ってもら
い委託に叶うものか決める仕組みになっております。

委員 仕様書の7ページに成果に連動した評価の記載がありますが、従
来からこの評価方式は行っていましたか。初めての内容と思いま
すが。

局 担当者として知っている限りでは、初めての内容です。
このような委託事業にあっては、当初は随意契約で初めて、一定軌

道に乗れば入札に移行することが多いです。

委員 予算は3年度分となっていますが、単年度契約ではない理由はどのような理由でしょうか。

局 契約期間及び単年度ではない理由は、本省からの指示によるもので、地方局としては具体的な理由は存じておりませんが、通常、国としての単年度契約ですが、特段の指示がある場合は複数年契約を行う場合も認められております。

委員 チャレンジ支援の活動については、一旦終了しましたと思いますが。

局 そのとおりです。

委員長 このような事業の場合、企画競争入札方式で行われますが、本省でいくつかの提案を受けて、それを地方局で委託事業者として契約を締結することが以前あったと記憶していますが、この事業もそれに当たるのでしょうか。

局 数者が企画提案を行い、事業委託に値する応札者と契約を締結します。この案件の場合、広く呼びかけましたが、結果的に大原学園1者のみ企画競争参加でした。企画提案が事業委託に合致していない場合は契約を行わないこともあります。

以上

委員長 賃貸借の契約期間の延長についてですが、これは随意契約要件の緊急に契約を要するものに該当するのでしょうか。緊急性とは限定的な解釈と理解しておりますが。

局 現在使用している賃借物の場合は、緊急性というよりも、延長による継続使用を目的としておりますので、これについては緊急性ではなく、目的理由により競争入札に馴染まないものに当たります。

委員長 他の随意契約案件で、業務開始までに約1か月半の期間であることから、緊急性を理由として随意契約となっております。

間に合わないのでしょうか。緊急性の理由が少し緩やかなような気がします。

局 競争入札となりますと、手続きから納品が完了するまで最低でも2か月は要することとなります。契約から納期まで約1ヶ月は必要となります。

ですから、公告から納品完了までの期間が2か月を切ると随意契約を考えることとなります。

しかしながら、公平性を担保するため随意契約と言えども、出来るだけ見積もり合わせを行っております。また、1ヶ月を切ると見積もり合わせを行うことも困難となるため、実績を有する業者に打診することとなります。

以上

6 審議結果（委員長）

本日、審議を行った案件について、特に不適切又は改善すべきと思われる点はなかったと思いますが、両委員ともご異議ありませんでしょうか。

（「適切である」の声）

それでは、運営要綱第5条第4項のとおり、委員の多数をもって決したと認めます。

また、運営要綱第5条第2項により、本日の審議内容を兵庫労働局長へ報告するとともに議事の概要を公表、ホームページへ掲載することとします。

7 閉会